

ntsel-report.sty 檢証テスト

検証用

2025年12月2日

目次

1 paragraph 番号のテスト

1.1 最初のサブセクション

1.1.1 最初の項

a) 第1細目

これは paragraph 番号のテストです。番号が a) と表示されるはずです。

b) 第2細目

これは paragraph 番号のテストです。番号が b) と表示されるはずです。

c) 第3細目

これは paragraph 番号のテストです。番号が c) と表示されるはずです。

1.1.2 第2の項 (リセット確認)

a) リセット後の第1細目

subsubsection が変わったので、paragraph 番号が a) にリセットされるはずです。

b) リセット後の第2細目

paragraph 番号が b) と表示されるはずです。

2 detaillist 環境のテスト

2.1 短い項目名のテスト

- **短名** : これは短い項目名のテストです。2行目以降が「こ」の位置に揃うかを確認します。この文章は意図的に長くしており、複数行にわたる表示をテストしています。
- **別項** : 次の項目です。インデントが正しく機能しているか確認します。

2.2 長い項目名のテスト

- **非常に長い項目名を持つケース** : これは長い項目名のテストです。項目名の長さに応じて、ぶら下げインデントの幅が動的に調整されることを確認します。この文章も複数行になるように意図的に長くしています。
- **もう一つの長い項目名のケース** : 前の項目と異なる長さの項目名でも正しく動作することを確認します。各項目が独立して正しいインデント幅を持つべきです。

2.3 様々な長さの混在テスト

- **短** : 短い項目名。
- **中程度の長さの項目名** : 中程度の長さの項目名のケース。
- **とても長い項目名でテキストが複数行にわたる可能性がある** : 長い項目名のケース。
- **X** : 最短の項目名。

3 hangitemize 環境のテスト

3.1 基本的な使用

- **短名**: これは hangitemize 環境の基本テストです。通常の itemize と同様に「●」が表示され、かつぶら下げインデントが機能することを確認します。
- **長い項目名**: 項目名が長い場合でも、2 行目以降が適切な位置に揃うことを確認します。この文章は複数行にわたって表示されることを想定しています。

3.2 ネストのテスト

- **親項目**: これは親レベルの項目です。
 - **子項目 1**: これはネストされた子項目です。インデントが正しく機能するか確認します。
 - **子項目 2**: 2 番目の子項目です。
- **次の親項目**: ネスト後の親項目です。

4 後方互換性のテスト

4.1 既存の itemize 環境

通常の itemize 環境が影響を受けないことを確認:

- 通常の項目 1
- 通常の項目 2
- 通常の項目 3

4.2 既存の enumerate 環境

1. 番号付き項目 1
2. 番号付き項目 2
3. 番号付き項目 3

4.3 既存の subsubsection/paragraph 構造

4.3.1 従来の使い方

a) 従来の paragraph

既存のドキュメントで使用されている paragraph 構造が正常に動作することを確認。

5 複合テスト

5.1 すべての環境の混在

5.1.1 テストケース 1

a) 複合テスト A

通常のテキスト後に detaillist を配置:

- **項目 A** :detaillist の項目です。

- **項目 B** :次の項目です。

次に hangitemize を配置:

- **項目 C** :hangitemize の項目です。

- **項目 D** :次の項目です。

最後に通常の itemize:

- 通常の項目 1

- 通常の項目 2

5.1.2 テストケース 2

a) 複合テスト B

異なる順序でテスト。

6 極端なケースのテスト

6.1 非常に長い項目名

- これは非常に非常に非常に非常に非常に非常に長い項目名です :長い項目名でも正しく動作することを確認します。この説明文も複数行にわたります。

6.2 1 文字の項目名

- **A** :最小限の項目名。

- **B** :別の最小項目名。

6.3 特殊文字を含む項目名

- **項目 (括弧付き)** :括弧を含む項目名。
- **項目/スラッシュ** :スラッシュを含む項目名。
- **項目_アンダースコア** :アンダースコアを含む項目名 (エスケープ済み)。

7 検証結果サマリー

このテストファイルでは以下の項目を検証しました:

1. paragraph 番号の表示 (a), b), c) 形式)
2. paragraph 番号のリセット (subsubsection 変更時)
3. detaillist 環境の動的ぶら下げインデント
4. 様々な長さの項目名への対応
5. hangitemize 環境の基本動作
6. hangitemize 環境のネスト対応
7. 既存環境との後方互換性

8. 複数環境の混在使用
9. 極端なケース（非常に長い/短い項目名）
10. 特殊文字を含む項目名

すべての検証項目（V1.1-V4.4）がカバーされています。

PDF の出力を確認し、各セクションで期待される動作が実現されているかを目視で確認してください。